

令和8年度 学校いじめ防止基本方針

茂原市立東郷小学校

1 基本方針

(1) いじめの定義

「いじめ」とは、児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているもの。
(いじめ防止対策基本法 第2条)

(2) 基本方針

- ①「学校いじめ防止基本方針」の策定にあたっては、東郷小学校の教職員の意見、及び児童・保護者の意見を広く取り入れて決定するものとする。
- ②いじめは、人として決して許されない行為ではあるものの、いじめはどの子にも、どの学校にも起こり得ることを基本的な考えとして、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に取り組み、いじめのない学校づくりをする。
- ③言葉や暴力によるものだけではなく、インターネットを媒体とするいじめへの対応等、職員の研修を充実させ資質向上を図るとともに、家庭や地域、関係機関との連携のもとに、信頼関係の構築と人権の尊重によるいじめの撲滅を目指していく。
- ④いじめの実態及びいじめがあった際の聴取内容については、個人情報の保護を考慮しながら、積極的に情報提供をするとともに、隠蔽をすることのないようにする。
- ⑤いじめ防止に対する具体的な方策については、児童や保護者に取り組みの内容や成果についての意見を聴取し、効果の検証と取り組みの改善を図る。

(3) 内容

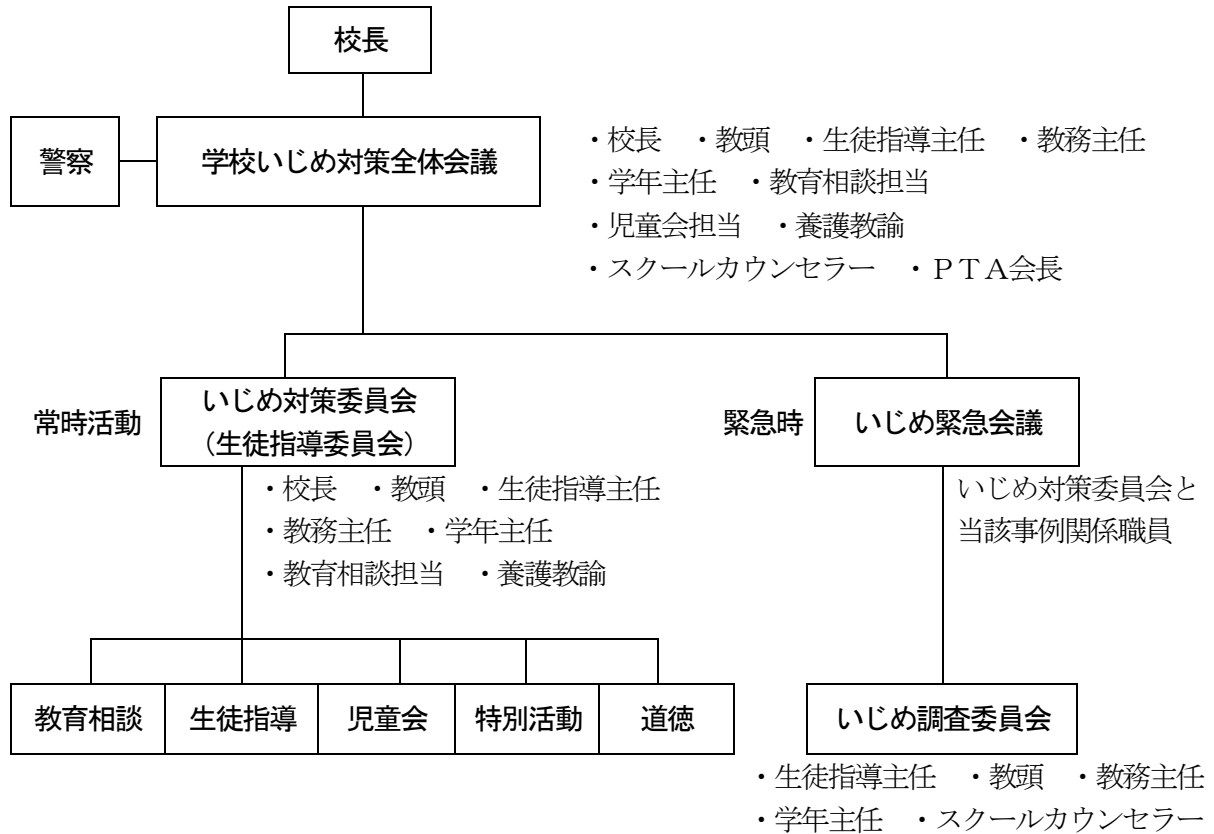
- ①いじめの防止等の対策のための組織（いじめ防止対策基本法 第22条）
- ②いじめに対する取り組み
 - ア いじめ防止のための取り組み
 - イ 早期発見のための取り組み
 - ウ いじめがあった場合の措置
 - エ 年間計画作成
- ③重大事態への対処（いじめ防止対策基本法 第28条）
- ④教育委員会、関係機関との連携

2 児童の実態

- (1) 冷やかしたりからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。
- (2) 仲間外れ、集団による無視をされる。
- (3) 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。
- (4) ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする。
- (5) 金品をたかられる。
- (6) 金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。
- (7) 嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。
- (8) パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷や嫌なことをされる。 等 ←SNSも多い。

* 波線は本校でも多いもの。

3 学校いじめ対策組織



4 いじめに対する取り組み

(1) いじめの防止のための取り組み

- ①児童には、いじめは絶対に許されるものではないことについての指導を徹底するとともに、人権教育の立場から、相手を尊重し認める態度を育成する。
- ②保護者や地域に対しては、ホームページで「学校いじめ防止基本方針」を公開するとともに、学校だよりで、いじめ防止に対する方針や取り組みの状況を広報する。
- ③教職員の言葉が児童を傷つけたり、いじめを助長したりすることのないように十分に配慮する。
- ④過度の競争意識、勝利至上主義等が児童生徒のストレスを高め、いじめを誘発しないよう努める。
- ⑤生徒指導の機能を生かした分かる授業の展開を目指す。
- ⑥道徳教育の充実を図り、道徳的実践力を養う。
- ⑦ピア・サポートの効果的な活用や特別活動の充実により、人間関係力を育成する。
- ⑧いのちを大切にするキャンペーン等、児童会活動の充実を図り、児童が主体となったいじめ撲滅の取り組みを支援する。
- ⑨「いじめ対策委員会」を月1回開催し、以下の内容についての会議を行う。
 - ・各学年の状況についての情報交換
 - ・いじめ防止についての計画の確認
 - ・いじめ防止対策についての検証と計画の修正

(2) いじめの早期発見のための取り組み

ア アンケート調査や面談等

- ① **7月・12月の年間2回、いじめに関する調査を行う。**
(その他に、9月や3月に追加で行う場合もある。)
- ②アンケート調査をもとに、担任または希望する教職員(7月・12月)の教育相談を行う。
- ③保護者との面談(7月、12月)の際には、いじめに関する内容を盛り込む。

イ いじめの相談や通報等

- ①学校における相談窓口は、教務主任・養護教諭とし、学校だより等で家庭への周知を図る。
- ②「いじめゼロ宣言」を各学級に掲示し、「はなす勇氣」の啓発を行う。

ウ その他

- ①担任を中心として、日常での児童の人間関係を掌握し、教職員がいじめの芽を早期発見できるようにする。
- ②「生活ノート及び日記」の活用により、児童がいじめに関する相談をしやすい環境を整える。
- ③保健室前に「相談箱」を設置し、いじめ等に関する相談をしやすい環境を整える。
- ④昼休み等授業時間外の児童生徒の人間関係を観察する等、日常的いじめの早期発見に取り組む。
- ⑤いじめを知った場合、いじめらしいと認知した場合は、学校の相談窓口に通報する旨、保護者に周知する。
- ⑥外部の相談期間や電話相談の情報を本人や保護者に周知する。

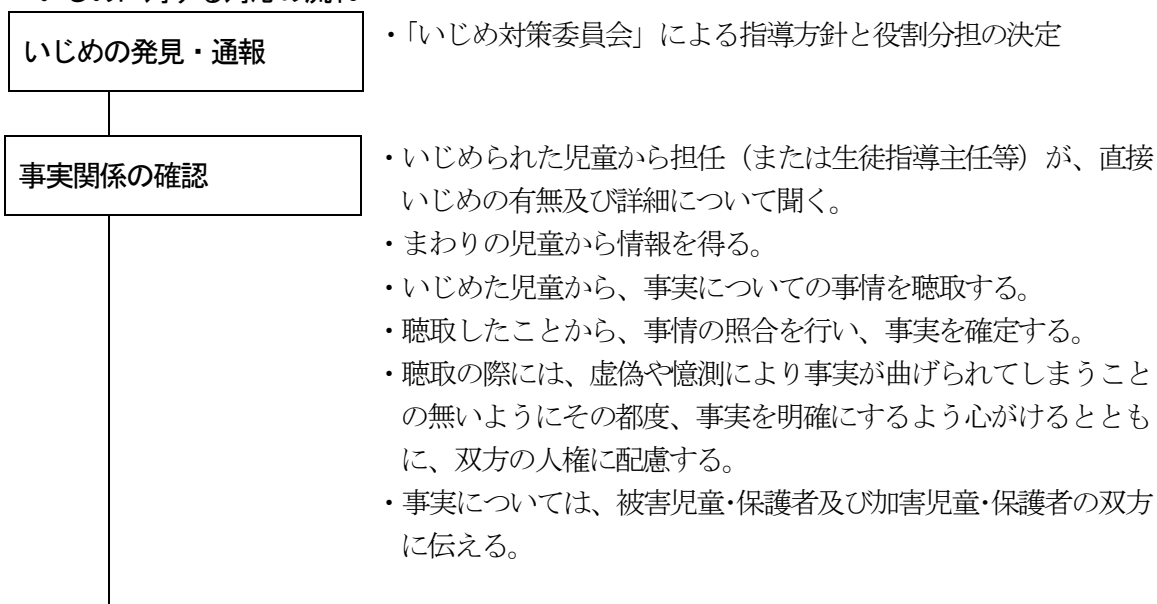
| | |
|-----------------|--------------|
| 子どもと親のサポートセンター | 0120-415-446 |
| 千葉いのちの電話 | 043-227-3900 |
| 東上総教育事務所相談室 | 23-4460 |
| 千葉県警察外房地区少年センター | 22-3741 |
| 茂原市青少年指導センター | 22-4466 |
| 茂原市教育委員会学校教育課 | 20-1558 |

(3) いじめがあった場合の措置

ア 基本的な考え方

- ①いじめ被害児童のケアを最優先とするが、被害児童、加害児童ともに正常な学校生活を送ることができるよう、改善することを基本とする。
- ②いじめは被害者にも問題があるとの考えに陥らないよう、十分な注意を払う。
- ③いじめ被害者や保護者を第一に考え、被害者や情報提供者を徹底して守り抜くことを伝える。
- ④いじめへの対応は、基本的には「いじめ対策委員会」を中心とした組織である。
- ⑤所轄警察署等の関係機関との連携を密にする。
- ⑥いじめ被害者が落ち着いて学校生活を送ることができるよう、別室授業等の措置も考える。

イ いじめに対する対応の流れ



| | |
|----------------------|---|
| いじめた児童の指導 保護者への助言 | <ul style="list-style-type: none"> ・確認した事実を保護者に伝え、今後の指導についても話す。 ・いじめは、人格を傷つけ、生命、身体又は財産を脅かす行為であることを理解させ、自らの行為の責任を自覚させる。 ・いじめは、人として許されない行為であることを自覚させる。 ・いじめを生んだ児童の背景にも目を向け、加害児童の人格の発達や自己実現に向けての目標を持たせる。 ・加害者や周辺生徒へ聞き取りをする場合、暴言や威圧等、不適切な聴取方法を禁止する。 ・場合によっては、学校教育法第35条に示された出席停止の措置について、教育委員会に相談をする。 |
| いじめが起きた 集団への対応 | <ul style="list-style-type: none"> ・はやし立てるなど、同調していた児童には、それらの行為がいじめに加担することであることを理解させる。 ・傍観していた児童に対しては、自分の問題として捉えさせるとともに、誰かに知らせる勇気を持つように指導する。 |
| いじめられた 児童のケア | <ul style="list-style-type: none"> ・被害児童が通常の学校生活に戻れるよう、いじめ対策委員会で方針と分担を決める。 ・必要に応じて、スクールカウンセラーの対応、別室登校等の策を講じる。 ・保護者との連携を密にする。 ・転校の意志がある場合にはその説明をするとともに、相談に応じる。 |
| ネットいじめへの対応 | <ul style="list-style-type: none"> ・学級活動等でインターネットやSNSを利用する際のルールやモラルについての指導をする。 ・青少年指導センターと連携し、ネットパトロールの結果に注意を払う。 ・名誉棄損やプライバシーの侵害があった場合は、プロバイダに削除を求める。 ・情報の削除が困難な場合やトラブルが複雑な場合は、警察署に援助を求める。 ・フィルタリング等、保護者への啓蒙活動を行う。 ・職員の研修を行い、職員の知識や指導技術の向上を図る。 |

5 重大事態が発生した場合

(1) 重大事態の基準（第28条）

- ・いじめにより、児童の生命、心身、財産に重大な被害が生じた時
 - 自殺を企図した場合
 - 心身に重大な障害を負った場合
 - 金品に重大な被害を被った場合
 - 精神性の疾患を発症した場合
- ・いじめにより、児童が30日以上欠席を余儀なくされた場合
- ・児童生徒や保護者から同様の内容での訴えがあった場合は、重大事態とする。

(2) 重大事態の報告（第30条）

重大事態が発生した場合には、速やかに教育委員会に報告をする。

(3) 重大事態への対応

※重大事態の発生については、特に詳細な記録を残す。

①連絡体制

発見者 → 担任 → 学年主任 → 生徒指導主任 → 教務 → 教頭 → 校長 → 茂原市教育委員会等

②いじめ対策組織の招集（第28条）

- ・いじめ緊急会議を招集し、事案についての概要の把握と今後の計画を立てる。
- ・いじめ緊急会議は、いじめ調査委員会を招集し、いじめの実態把握を行う。なお、いじめ調査委員会の委員長は生徒指導主任が務める。また、調査の専門的な知識や経験を有する第三者に参加を図り、公平性を高めるためにスクールカウンセラーの参加を依頼する。さらに、状況に応じて、警察関係者等の参加も依頼する。

③事実関係を明確にするための調査（第28条）

- ・調査にあたっては、いじめを受けた児童及び保護者に調査の目的や内容、結果の公表の仕方について、十分に理解を得る。

ア いじめられた児童からの聞き取りが可能な場合

- 当該児童及び関係職員、関係児童から聞き取り、または、質問紙調査を行う。
- 当該児童の学校復帰が阻害されることの無いように、当該児童や情報を提供してくれた児童の安全を最優先にする。

イ いじめられた児童からの聞き取りが不可能な場合

- 保護者の要望や意見を十分に聴く。
- 関係職員、関係児童から聞き取り、または、質問紙調査を行う。

ウ 調査結果の情報提供

- 調査結果については、いじめられた児童及び保護者に結果の提供を行う。
- 調査結果については、茂原市教育委員会に結果の報告を行う。

④いじめられた児童への指導

- ・いじめられた児童への指導については、「4（3）いじめがあった場合の措置」に準ずる。
- ・いじめられた児童の安全と学校生活の安定を最優先に考え、学習や生活の場所、スクールカウンセラー等の相談体制、学校全体での見守り体制、登下校での見守り体制、保護者との連絡体制、関係機関との連携等、当該児童の支援体制をとる。
- ・まわりの児童による支援体制や人間関係づくりの支援等、当該児童が不安なく学校生活を送ることができる環境を整える。

⑤いじめた児童への指導

- ・いじめた児童への指導については、「4（3）いじめがあった場合の措置」に準ずる。
- ・学校教育法第35条に示された出席停止の措置及び傷害事件での扱いも視野に入れて、警察との連携をとる。
- ・報道や事実に関する話題の拡散により、いじめた児童の人権が侵害されることも考え、関係機関や保護者との連携を密にする。

- ・いじめられた児童との人間関係の再構築、周りの児童との人間関係の再構築、本人の学校生活での目標設定等、いじめた児童の学校生活の充実及び自己実現に向けて、継続的に指導をしていく。

6 公表、点検、評価等

(1) 基本方針、年間計画の公開

策定した学校基本方針や年間計画は、学校のホームページなどで公開する。

(2) 基本方針、年間計画の見直し

具体的な施策ごとに設定した目標について、その進捗状況を定期的に確認し、年度末に目標の達成状況（活動実績）を評価する。また、評価に関しては、目標の達成状況（活動実績）を評価するとともに、それらの取り組みがいじめ防止にどのように効果があったのかについて考察し、取り組み内容や方法の見直しを検討する。このような取り組みを通して、策定した学校基本方針や年間計画をPDCAサイクルに基づき、毎年度見直す。

(3) 学校評価における留意事項

いじめを隠ぺいせず、いじめの実態把握及びいじめに対する措置を行うため、次の2点を学校評価の項目に加え、保護者・児童（生徒）・教職員等により適正に自校の取り組みを評価する。

- ① いじめの早期発見に関する取り組みのこと。
- ② いじめの再発を防止するための取り組みに関すること。

年間指導計画

| 月 | 学校行事 | 学校いじめ対策 | その他・備考 |
|-----|-------------------------------------|---|---------------------------|
| 4月 | 始業式・入学式 避難訓練 1年生を迎える会 授業参観 | 第1回学校いじめ対策全体会議 学校いじめ防止基本方針の決定 学校HPへの掲載・相談窓口の周知 SOSの出し方教育 | 教科等年間指導計画作成 学級生活のルール作り |
| 5月 | 交通安全教室 宿泊校外学習 避難訓練（不審者） | いじめ対策委員会 職員研修 | |
| 6月 | プール清掃 PTA校庭整備作業 避難訓練 | いじめ対策委員会 いじめ防止キャンペーン | 友人関係の見直し |
| 7月 | 教育相談 | 第1回いじめ実態調査・教育相談 | |
| 8月 | | 職員研修 第2回学校いじめ対策全体会議 | |
| 9月 | 避難訓練 学校公開 スマホ等安全教室 | SOSの出し方教育 | 生命尊重の教育 |
| 10月 | 終業式・始業式 PTA校庭整備作業 運動会 | いじめ対策委員会 | |
| 11月 | 修学旅行 授業参観 | いじめ対策委員会 いじめ防止キャンペーン | |
| 12月 | マラソン大会 教育相談 | 第2回いじめ実態調査・教育相談 | 地域安全情報交換会 （ミニ集会） |
| 1月 | 校内書き初め展 避難訓練（火災） 授業参観 | 第3回学校いじめ対策全体会議 いじめ対策委員会 | 生命尊重の教育 |
| 2月 | 入学説明会 学力検査 薬物乱用防止教室 | いじめ対策委員会 職員研修 | |
| 3月 | 6年生を送る会 卒業式 修了式 | いじめ対策委員会 | 学校評議員会 学校評価委員会 |

※いじめ対策委員会は、生徒指導委員会と兼ねる。